

即戦力
市議25年

こんどだけは、
釧路を変える選択を

日本共産党

党地区政策委員長(道議予定候補)

松永としお

プロフィール

○1948(昭和23)年 白糠町生まれ○1967(昭和42)年 釧路新聞社に入社、編集局報道部など勤務、同労組書記長
○1981(昭和56)年 釧路市議初当選、以来6期連続当選 ○2007(平成19)年 道議選、2008(平成20)年 市長選
立候補 ○愛読書は石川啄木と藤沢周平、趣味は魚釣りや映画鑑賞 ○家族は妻と二男

くしろ民報 2010年号外

発行 日本共産党釧路地区委員会
釧路市住之江町10-1 TEL22-6121

日本共産党釧路地区委員会は松永俊雄さんの経歴と政策を発表しました。

抜群の政策力と行動力で――

11人兄弟の末っ子、
23歳で労組書記長に



白糠の元
小作農家に
生まれ、11
人兄弟の末
っ子。高校
の半年間は

15キロを自転車通学しました。
23歳で労働組合の書記長に選ば
れ、働く仲間と組合活動にあけくれ
た青春でした。

32歳で市議会へ、
若い論客で注目

28歳で党の専従と
なり、政治の道へ。
32歳で釧路市議に初
当選、以来6期25年。
新聞には、「市議会
きつての論客」と評
価され、「松永さん
の質問が一番緊張し



ます」と市の幹部も言っていました。

建設的提案で市政動かす

初当選いらい建設的提案で市政を
動かししました。春採湖の浄化と整備、
国保料の値下げ、都心部での公住建
設、MOOの破たん処理、マリモの
保護と再生など、松永さんの提案が
はじまりでした。

電話は朝の6時から――

自宅の電話は朝から鳴り出します。
多重債務や「お金
がなくて医者にも
かかれぬ」など、
相談は市民生活の
現状を反映したも
のばかり。
親身になって相
談に応じる姿はい
まも同じです。



道議会にぜひとも必要な議席です



ともにがんばります

松永さんは釧路市民の
声をまっすぐ道議会に
届けられる人です。

参院議員
紙 智子



石川 明美



梅津 則行



村上 和繁